

痛快! アニメギア 野郎

攻殻ガジェット&電脳スタバ硬化症編

スタバ齋藤が、STAND ALONE COMPLEX、を斬る!! 俺様の欲しいサイバーなギア・ガジェットはこれだ!!

SF系作品なら、登場する機械類やらテクノロジーこそ超重要脇役!
そこんとこのディテールをしっかりしっかり見せて欲しいのだ、くわっ!!



★「ブレードランナー」(82)は、フィリップ・K・ディックのサイバーパンク小説「アンドロイドは電気羊の夢を見るか?」を映画化した作品。原作も映画も、その後のSFシーンに超絶的大影響を与えまくって倒し尽くした。現在「攻殻機動隊STAND ALONE COMPLEX」の世界と比べたりなんかすると、デジタル度が低かったり装置度っていうかデッドテック(時代遅れのテクノロジーのこと)度が高かったりもするが、義体や電脳に通じまくる要素が多い。さておき、各種のカッコよい装置類・状況類が生まれ、とりわけアナログ風味を残したハードウェアが非常によい味を出している。「攻殻機動隊STAND ALONE COMPLEX」の少佐と「ブレードランナー」のレイチェルの心情を照らし合わせると微妙にオモシロかったりもするので、まだ観てないって方はぜひ。写真協力(財)川喜多記念映画文化財団

待ってました攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX こーゆー描写のSFアニメを観たかったのだ!!

攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEXを初めて観たその瞬間ビビって熱くなって燃え上がった俺ことスタバ齋藤は、あ、サイバー系映画・アニメ好きのパソコン野郎の拙者なんですけど、とにもかくにも、もー夕々に「我が意を得たり」的な作品に出逢ったと痛感している。

というのは、ぶっちゃけた話をハッキリ言っちゃおうと、これまでの大半のSF映画・アニメにおいては、ストーリーを重視するあまりなのか、その世界の猛烈にカッコ良くてグレートでジョリーグッドである「テクノロジー的側面」の描写が割愛されまくりだからだ。

例えばサイバー映画の草分け&金字塔的存在の『ブレードランナー』。あの映画の中には、すげえたくさん魅力的な装置や楽しそ〜なテクノロジーが実写で登場する。言葉で指示するだけで写真を自由に精密に閲覧できる機械、レプリカントと呼ばれるアンドロイドの目ん玉を観察する装置、空飛ぶバトカーことスピナーなどなど。

コンピュータ野郎もしくはハードウェア好きとしては、そういった装置類が登場するだけで多かれ少なかれ燃えたり萌えたりする。のだがしかし!! 作品中では、これら各種魅力的装置類がどんなシクミで動いているのか、その世界ではどの程度のレベル(特殊が普通が高価か安価かetc.)などが、ほとんど説明されていないのだ。

要は、その世界の技術や装置が、単なる小道具として扱われているのが物足りないヨ、と。俺的には「もっと説明してちょ!!」「その写真拡大する機械もっと見してくれや!!」「ていうかその写真って3D

写真なの2Dなの? 教えてよ!!」という心意気なのである。

このよーなコトは、多くのSF系アニメ作品についても言える。例えば『AKIRA』。俺の欲望を素直に言えば、金田のバイクの機能・性能をさらに描いて欲しいし、鉄雄を狙う衛星兵器ことソルを地上から制御する場面を詳細に見せて欲しい。「機動警察パトレイバー 劇場版」にしてもそうで、1作目でコンピュータ犯罪の謎を解かんとするシーン——箱船と呼ばれる海上の巨大建造物を解析する場面に登場する、シゲさんの部屋のパソコンおよび周辺機器類の具体的な機能・性能等をさらに知りたい。2作目で、東京・福生の施設へと刑事が潜入するが、刑事は光ディスクを盗むだけでなくコンピュータを起動して使ってインターフェースやソフトウェア動作をぜひ見せて欲しいのである、俺としては!! さらにさらに細かく見たいのダっ!!

いや、そのよーな細部を描かなくてもすね、「ブレードランナー」も『AKIRA』も「劇場版パトレイバー」も十分に楽しめる超優良作品ではあるのだ。また、技術やらギアやらの詳細を描いちゃうとストーリー上のテンポが失われるとか上映時間オーバーとか予算が足りないとかいう事情もあると思う。しかし!! やっぱり!! ディテールは非常に重要だと思って思いついて止まない俺!!

物語によって、より多く描かれるべき要素があると思う。恋愛作品の感情描写が緻密なら、よりリアルな感情移入ができる、と思う。そんな作品では、カノジョが使ったケータイの機種は何? てな視点は無用というか、小道具・小間物なんかどーでもよいことが多い。

SF系作品、とりわけ、登場人物の行動を技術や装置が支えがちな作品の場合、俺思うに「技術的側面や機械類は必要不可欠な重要要素だ」と。超重要脇役とも言えるそれら要素が、より細かく正確に描かれれば、作品そのものをより深くリアルに体験できるハズだ。

例えば、主人公の目からいきなり光線が出て敵を倒したりすると、なんだかよくわかんねえのである。主人公はロボットで、目の中にとてもスゲー装置が入っている、と言われれば理解できるが、リアルさに欠けて胡散臭いのである。とてもスゲー装置のシクミや機能や価値あたりまで説明されると、なるほどそーゆー技術がある世界の話なのかアジャあ鼻から出たあの噴射もぎっと……とリアルに作品の世界観を推察できるだろう。でも鼻から噴射が出るSF作品はイヤだなぁと思った。さておき、よりリアルで迫力のあるSF作品を大堪能しまくりたい俺は、そんなディテール描写を大希望するのだ。

その、技術や装置のディテールをビシッと描写したのが攻殻機動隊STAND ALONE COMPLEXだと感じる。技術や装置が端的に描写された一場面から物語の世界観がズギャーンと見えてくる＝一を聞いて十を知ること、ある意味可能な作品だ。しかし、木を見て森を見ずという偏った作品にもなっていない!! これでしょコレ!! 俺が観たかったサイバーでSFでハイテクなアニメはコレなんだよ!! と。



★日本が世界に劇的衝撃を与えたアニメ『AKIRA』(88)。テクノロジーや装置などよりもむしろ、人間の新しい能力っていうか超能力っていうかソッチの方面を描いた作品だが、近未来のリアリズムという点では「攻殻機動隊STAND ALONE COMPLEX」と通じる迫力がある。主人公の金田少年が乗るバイクは非常にカッコ良いのでぜひホンダカワサキヤマハカスズキカスヤマあたりから実車を発売して欲しいけれど、このバイク、作品中では形状以外あまり細かいスペック等は描かれていない。

©1988 マッシュルーム/アキラ製作委員会

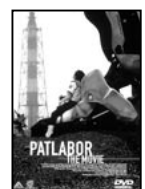


★ワーレバーだ〜カッコイイなあ早く日本の警察もこーゆーロボットみたいなを導入すればサイバーなのにとか思う拙者も激視聴しまくりの定番アニメ「機動警察パトレイバー 劇場版」(89)。比較的詳細な技術・装置描写がなされているが、俺的にはまだまだ物足りない感じだ。

©HEADGEAR / EMOTION / TFC



AKIRA
DVD SPECIAL
EDITION
¥10,290 (税込価格)
発売元・販売元:バンダイビジュアル



機動警察
パトレイバー 劇場版
¥10,290 (税込価格)
発売元・バンダイビジュアル・東北新社 / 販売元・バンダイビジュアル

※現在は絶版となっているが、近日リニューアル版DVDが発売予定。